

令和5年度の総合戦略主要施策について

【市評価の方法】

各担当課において、事業内容・規模等の下段に事業実績を、達成値に目標項目の達成値を、評価は次のA～Dの基準で判定し記入する。
A:達成率100%以上(地方創生に非常に効果的であった) B:達成率50～99%(地方創生に効果があった) C:達成率1～49%(地方創生の効果が低かった) D:達成率0%または事業未実施(地方創生の効果がなかった)

重点戦略1	対馬ならではの雇用・なりわいを創る！	重要業績評価指標 (KPI)	項 目	平成30年度末	令和7年度末目標	令和5年度末実績	達成率	備考
			新規創案件数	35件(1期5か年累計)	42件(6か年累計)【年間7件】	3件	42.8%	累計:18件
			総合戦略各種事業による新規雇用者数	年間87名	90名(年間)	23名	25.6%	
			Uターン者の就業者数	—	20名(年間)	3名	15.0%	
			高卒就労者の地元就職率	36.70%	50.00%	53.70%	107.4%	

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和5年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証						
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見					
特定有人国境離島雇用機会拡充支援事業	特定有人国境離島地域において、新規創業や事業拡大を行う個人及び事業者に対し、設備導入や人件費等の費用を助成し、雇用の拡充を後押しする。	地域社会維持推進交付金	しまの力創生課	週20時間以上の雇用を伴う創業または事業拡大を行う者に対して事業費の一部を支援します。 補助率:3/4 創業:上限450万円 事業拡大(設備投資有り):上限1,200万円 事業拡大(設備投資無し):上限900万円	・対馬市雇用機会拡充支援事業補助金審査会等、経費一式 ・島外事業者説明会開催	新規創業件数	3件	3件	B	B	本事業が開始されてから、どれだけの事業が開始されたのか、またどれほどの事業が継続されているのか資料を作成しておくべき。 ハローワークとの連携強化も図ること。					
					・採択事業者への補助金(事業費の3/4) ・対馬市雇用機会拡充支援事業補助金審査会等経費 ・島外事業者説明会開催経費 など	新規雇用者数	20人	18人								
					うちUターン者	5人	3人									
創業等支援事業	市内における新規創業や新分野への取組に対する支援及び各種セミナー及びハンスオン支援の実施など、域内での新たな創業を後押しする。	創業準備セミナー	しまの力創生課	創業を行う上で必要な知識を学び、自身の持つビジネスプランを事業化するためのセミナー及び個別指導を行う。	①1日(4時間)を年2回開催 ②創業支援アドバイザー 支援者3団体×2回(4時間)	新規創業件数	1件	1件	A	A	支援事業者数は97件となっているが、単に件数だけではなく、相談内容等についてもしっかりと確認し、事業自体が役立っているのか検証を行うこと。					
		創業等支援事業補助金		創業や新商品の開発、販路拡大等に取り組まれる方に補助金を交付し支援します。	①1日(4時間)を年2回開催 ②支援者1団体×2回、支援者1団体×1回(4時間)	新規雇用者数	1人	1人								
				創業支援、事業拡大支援、人材育成支援事業	セミナー開催数	2回	2回									
				創業支援、事業拡大支援、人材育成支援事業	支援事業者数(年間)	70社	97社									
既存事業者フォローアップ事業	第1期総合戦略での事業により新規創業及び事業拡大を行った事業者等に対し、必要に応じ、経営状況の確認やアドバイザーの派遣、ハンスオン支援等により継続した取組みとなるようフォローアップする。	地域資源活用・創業準備セミナー	しまの力創生課	地域資源の活用や、創業、新商品の開発、経営の改革等を考えてる方を対象に、地域資源の活用事例や起業や経営に関する専門的な知識を習得するためのセミナーを開催する。	1日(4時間)を年2回開催	アドバイザー派遣件数	3件	3件	A	A	支援事業者数については、例年目標を大幅に達成していることから、上方修正又は、担当課内での目標設定を見直してはどうか。					
				1日(4時間)を年2回開催	支援事業者数	5社	23社									
		創業支援アドバイザー派遣	新商品の開発や新分野への挑戦、販路開拓等を考えている方に、専門家を派遣し支援や助言等を行う。	支援者3団体×2回(4時間) 支援者1団体×2回、支援者1団体×1回(4時間)	就職等相談会開催数	5回	4回									
			観光アドバイザー派遣事業	地元と観光産業関係者【宿泊施設、飲食店等】を対象におもてなしのスキルアップのため、アドバイザーを派遣する。	アドバイザー派遣(40日) アドバイザー派遣(72日)	観光アドバイザー派遣日数	年間40日	72日								
		特定有人国境離島漁村支援交付金		特定有人国境離島地域の漁業集落が行う雇用機会の拡充を図るための取組を支援する。	特定有人国境離島漁村支援交付金	水産課	(雇用を創出するための取組) 新たな漁業又は海業に取り組む者、あるいは漁業又は海業の事業規模の拡大を行う者を漁業集落が支援する場合に要する一定の経費を支援します。 (雇用の創出を円滑に行うための環境整備) 漁業集落が雇用を創出するための取組を進める上で基盤となる良好な集落環境を整備するのに要する一定の経費を支援します。	・漁業又は海業の起業又は事業拡大に要する経費に対する支援 ・漁業集落内の景観の維持又は保全に要する経費に対する支援				新規創業件数	8件	4件	C	C
			新規雇用者数					8人				4人				
新規雇用者数のうち、Uターン者数	4人		0人													
企業誘致奨励事業	コールセンター、宿泊施設等、研究機関など、若い女性が働ける場、若い方が求める職種を基本とした企業誘致を強力に推進し、若者のニーズにあった雇用の機会を提供していく。	企業誘致事業	しまの力創生課	国内企業に対し、対馬の産業との相乗効果をもたらす企業の対馬進出を促す活動を実施。	企業誘致事業(旅費)、企業データ情報調査	訪問企業数	5社	7社	C	C	企業誘致には、複合的な問題、移住や雇用等の問題をクリアしなければならないため、非常に難しい事業だと思う。訪問企業数はクリアできているが、誘致してこそその目標だと思うので、継続して取り組んでほしい。					
					企業誘致事業(旅費)、企業データ情報調査他	企業誘致数	1社	0社								
						新規雇用者数	10人	0人								
第1次産業プラス副業による所得向上支援事業	農林水産業従事者等の所得向上及びUターン者の生活の安定のため、第1次産業プラス副業を行う者を対象に初期段階での取組みに対し、一定の支援を行う。	制度設計	政策企画課他	農林水産業従事者の所得向上及びUターン者の生活安定のため、第1次産業プラス副業を行う者を対象に、初期段階での取組みに対し、一定の支援を行う。	第1次産業プラス副業を行う者を対象に、初期段階での取り組みに対する支援制度等を構築 対馬市第1次産業プラス副業支援事業補助金交付要綱(案)の策定	事業制度(案)の構築	完了	△	C	C						

重点戦略2の続き

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和5年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
中対馬アクション プラン推進事業	烏帽子岳、和多都美神社等の観光資源を有しながら、現在、観光客の通過地となっている対馬中地区において、各種体験メニューと宿泊施設の充実を図ることで中対馬地域の活性化を図る。	中対馬アクションプラン推進事業	中対馬振興部	本地域は和多都美神社や風光明媚な原風景、日本有数の自然海岸延長を誇る浅茅湾を一望できる烏帽子岳等様々な歴史、観光資源を有しているが、現状、対馬北部と南部を結ぶ通過地に留まっていることから宿泊機能、体験メニュー等の拡充により、観光客の滞留時間を拡大し、地元消費を促すことで地域の活性化を図る。	光を活用したキャンプ客誘致事業	神話の里自然公園キャンプ場利用者数	220人	839人	B	A	国外客誘客数は未達成だが、キャンプ利用者数や体験事業の目標は大幅にクリアできている。誘客数については、重点戦略2の全体目標であるため、本事業の個別目標からは削除すべき。	
					神話の里自然公園のライトアップ及びキャンプイベントを実施し、地元マリンインストラクターの協力による体験を併せて実施した。	各種体験事業 利用人数	50人	98人				
						国外客誘客数	230,000人	163,226人				
交流人口拡大推進 事業	対馬の観光情報発信、宿泊施設機能向上、インバウンド対策、おもてなしセミナー、ガイド人材育成等、国内外PR及び受け入れ体制整備等、複数の事業を一体的に実施することで、交流人口の拡大を図る。	交流人口拡大推進事業	観光商工課	「おもてなし」の向上を図るとともに、これまでの「待ち」のスタイルから自らを磨き自らの「強み」を売る」事業者への変換を図る。地域の魅力を活かした旅行商品の販売促進を通じ、長崎県と連携し、しま旅の滞在観光を推進する。	①事業者間ワークショップ開催、セミナーの開催、観光満足度調査の実施 ②(一社)長崎県観光連盟実施による「長崎しま旅」事業への負担金支出	おもてなしセミナー 開催回数	3回	1回	B	B	おもてなしセミナーの開催数及び参加者数が目標値となっているが、コロナも明け、観光客の往来が増加している中で、開催数、参加者数は目標にふさわしいのか。セミナー等の取り組みがいかに生かされているのかを検証するため、例えば観光客の満足度等を目標にすべきではないか。ガイド人材については、今後も注力していただきたい。	
					事業者間ワークショップ開催…2回、セミナーの開催…1回、観光満足度調査及び事業者へのフィードバック、インバウンド復活期への備え (一社)長崎県観光連盟実施による「長崎しま旅」事業への負担金支出	おもてなしセミナー 参加者数	90人	17人				
						ガイド人材養成数	15人	12人				
						国内客誘客数	160,000人	80,033人				
						国外客誘客数	230,000人	163,226人				
対馬博物館建設事 業	対馬の歴史・文化・交流の拠点として、対馬を代表する歴史的文化遺産を保全するとともに、他の郷土館や史跡、観光地との連動により観光振興と地域振興を目指す。	対馬博物館建設事業	博物館学芸課	市民や学校などを対象に講演やワークショップを実施する。他の博物館や研究機関等が所有する貴重な文化財を展示又は対馬博物館の調査研究等の成果を展示する特別展を開催する。	・講演会・ワークショップ等 10回開催 ・特別展 2回開催及び次年度特別展開催準備	イベント開催数	2回	29回	B	B	どちらの項目についても、見直しが必要なのではないか。また、2施策を1施策にまとめ、現在の実情に合わせた目標設定等を行ってほしい。上記を踏まえたうえで、情報発信やイベント開催等、博物館の来館へどういった効果があったのかまで検証を行う必要がある。	
					展示解説会、ワークショップなど29回開催 2回開催及び次年度特別展開催準備	入場者数	100,000人	39,223人				
						特別展開催数	2回	3回				
対馬博物館文化財 魅力発信事業	令和2年度の博物館開館にあわせ、北部九州地域や関西、東京圏へのPR、メディア等を活用した情報発信等を実施する。	対馬博物館文化財魅力発信事業	博物館学芸課	国内外に向けた博物館周知広報を行う。	国内5か所、国外2か所	PR件数 (国内向け)	5件	1件	B	B	29回のイベントを開催しているにも関わらず、入場者数が低調になっており、イベント実施の規模や内容等も含め見直すべきではないか。	
					国内1か所	PR件数 (国外向け)	2件	0件				
						情報発信 (HPのアクセス数)	20,000回	83,902回				

重点戦略3	安心して結婚・出産・子育てができる環境を創る！	重要業績評価指標 (KPI)	項 目	平成30年度末	令和7年度末目標	令和5年度末実績	達成率	備考
			合計特殊出生率	2. 18人	2. 40人	1.77人	73.8%	
			子育て支援に対する市民満足度	40. 2%【就学児】 42. 8%【未就学児】	60.00%	15%【就学児】、15%【未就学児】	25.0%	
重点戦略4	高齢者が健康で生きがいを感じられる環境を創る！		本戦略事業による婚姻数	3組	年間5組【累計30組】	4組	80.0%	
			待機児童数(年間を通じ)	8人(年度中途の時点)	常時0人	目標から削除		
			シルバー人材センター登録者数	127人	200人	68人	34.0%	
			シルバー人材センター延べ業務日数	2, 625日	5, 000日	4,723日	94.5%	

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和5年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
幼児教育・保育の無償化事業	幼児教育の負担軽減を図る少子化対策と、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性を鑑みて実施する。	幼児教育・保育の無償化事業	こども未来課 政策企画課	幼児教育の負担軽減を図る少子化対策と、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性を鑑み、幼稚園・保育所・こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子ども並びに住民税非課税世帯を対象に0歳から2歳児までの子どもの保育料を無償化する。	通年実施	市民満足度	実施	実施	A	B	市民満足度のアンケートは実施しているものの、評価はとても低い。 満足度が下がった要因等分析を含め対応策を検討してほしい。 また、アンケート調査の実施で目標を達成とは言えないため、満足度の割合を目標とすべき。そのため、部会の評価はBとする。	
					通年実施	対象年齢の子どもにおける施設の利用率 (利用者数/申込者数) ※R5より計算方法を変更	80.00%	100.00%				
対馬3高校の特性にあった文化・スポーツ指導者招聘事業 【重点戦略2と重複】 再掲事業	中学生までの段階で特にスポーツ【陸上、野球等】で好成績を残している生徒が、中学校卒業後、より高い環境を求め島外の強豪校に推薦等で進学しており、これが島内高校進学率の低さにつながっている。また、吹奏楽等の文化部門においても、同様のことがいえることから、県立高校であり、市の関与は難しいものの市が雇用する形で3校の特色に応じ、ひとつの分野に絞った指導者の招聘を推進する。	スポーツ指導者招聘事業	政策企画課	スポーツ指導者（陸上競技）を対馬高校へ外部指導として派遣し、陸上部強化に取り組むとともに、小中学生普及活動として出前授業を実施する。	対馬高校陸上部へ外部指導者を派遣 小中学校への出前授業の実施	人材招聘	1名	1	B	A	【重点戦略2に同じ】	
		高等学校文化・スポーツ活動支援事業	政策企画課	市内に所在する高等学校の魅力化を推進するため、部活動の強化のための島外への遠征・合宿等に要する経費の軽減を図る。	対馬市高等学校文化・スポーツ活動支援事業補助金交付要綱の制定及び事業の実施 補助金交付要綱を制定し対馬3高校への部活動島外遠征等に要する経費の補助を実施							
		高校魅力化推進懇話会	総務課	上記事業の進捗管理、島内中学校への情報発信等を行う機関として開催する。	懇話会開催: 年2回程度 懇話会開催: 年0回							対馬市高校魅力化推進懇話会開催回数
		地元事業者への働き方改革推進事業	出産、子育てがしやすい環境を民間企業にも推進していただくため、各種制度の実施に応じ、認定・表彰制度を検討する。	地元事業者への働き方改革推進事業	観光商工課	男女問わず全ての労働者が働きやすい環境づくりを推進するとともに、仕事と仕事以外の生活との調和をとり、その両方を充実させる働き方を目指すために、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を市が認定し、支援する	R4年度設計の同事業について、具体的な実施に向けたブラッシュアップを行う 同制度の実施に向けた周知策及び関連する補助事業の制度の検討の実施。	事業者への周知及び取り組み開始				開始
縁結びプロジェクト事業	社会福祉協議会や商工会青年部等との連携により、市内男女の未婚・晩婚化対策のため、出会いの場創出から交際、結婚までのフォローアップを実施する。	つしま縁結びプロジェクト事業	地域づくり課	婚活イベントを実施する団体や協力者とともに実行委員会を構成し、イベント実施や個別カウンセリングにより、出会いの場の提供から成婚へと繋げる。	婚活イベント、個別カウンセリングの実施	イベント開催数	3回	3回	B	B		
					セミナー付き婚活イベント実施回数:3回 カウンセリング件数(電話・メール等):982回	イベント参加者数	80人	51人				
					カップル成立数	20組	17組					
					婚姻組数	3組	4組					
対馬市シルバー人材センター活用事業	全島組織化したシルバー人材センターを拠点に労働力確保、高齢者の生きがいづくりを推進する。	対馬市シルバー人材センター活用事業	長寿介護課	働く意欲を持っている高齢者のために、その知識、経験、希望に沿った補助的、短期的な就業の機会を確保し、高齢者の生きがいとその能力を増進し、地域社会づくりに寄与することを目的に「対馬市シルバー人材センター」を運営、組織強化を図る。	対馬市シルバー人材センターへの運営費補助	年間延べ業務日数	4,300日	4,723日	A	A	評価に対しては特になし。 今後も継続して行うために、内部の状況等(依頼数と受注数等)も公開してはどうか。 実働人数の増につなげられないか。	
					シルバー人材センター運営の支援	実働人数	60人	68人				
地域包括ケアシステム推進事業 (小さな拠点形成も含まれる)	「対馬における地域包括ケアシステムのあり方について」の提言内容を基本に、「医療」、「介護」、「生活支援」、「予防」、「住まい」の5つの柱毎の施策を推進する。 【主な内容】 (医療)病院と診療所間で最新の診療情報を相互に閲覧できる環境整備や医療人材の確保 等 (介護)デイサービス、ショートステイ整備の拡充及び人材確保 等 (生活支援)見守り、買い物支援、交通支援、ボランティア人材の拡充等	認知症支援体制推進事業	長寿介護課	認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する理解者を増やし、認知症になっても暮らしやすい街を作る。	認知症サポーター養成講座の実施 150人受講 シルバー人材センター運営の支援	認知症サポーター登録者数	150人	77人	A	A	医療介護連携の目標値ですが、大幅に超過しているものもあり、担当課において、そもそもの設定を見直してほしい。	
		地域包括ケアシステムに関するセミナー開催		地域包括ケアシステムの推進を図るために、市職員向けのセミナーや、市民向けのセミナーを開催する。	地域包括ケアシステムに関するセミナー3回開催 セミナー 2回分	セミナー開催数	3回	2回				
		一体的介護予防のための人材事業		長寿介護課 健康増進課	保健事業で行っていた疾病予防・重症化予防と併せて、介護予防も一体的に実施し、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施する。	一体的介護予防のための人材の配置 一体的介護予防事業	一体的介護予防のための人材確保数	6人				6人
		医療介護連携事業	長寿介護課	医療介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療介護の提供を行うために、関係機関が連携し多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築する。	在宅医療・介護連携推進事業委託(対馬病院へ委託) 在宅医療・介護連携推進事業委託	医療介護連携相談件数	2, 160件	7,962件				
		コミュニティバス実証運行	地域づくり課	コミュニティバスの運行と検証を実施する。	地域主体によるコミュニティバスの運行と検証 地域主体によるコミュニティバスの運行	コミュニティバス年間延べ利用者数	850人	1,691人				